

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	都市ブランド創造局総務文化部文化企画課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立旧百三十銀行ギャラリー	施設類型	目的・機能
			I	— ④
	所 在 地	北九州市八幡東区西本町一丁目 20 番 2 号		
	設置目的	演劇、音楽その他の利用に供することにより市民文化の向上に資する。		
利用料金制		<input type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無		
指定管理者	名 称	旧百三十銀行ギャラリー管理運営共同事業体 代表企業 公益財団法人北九州活性化協議会		
	所 在 地	北九州市小倉北区古船場町 1 番 3 5 号 北九州市立商工貿易会館 6 階		
指定管理業務の内容		<input type="checkbox"/> 施設の管理運営 <input type="checkbox"/> 貸館業務 <input type="checkbox"/> 自主事業の実施		
指定期間		平成31年4月1日～令和7年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント			
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み			
(1) 施設の設置目的の達成			
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。			
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。			
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
【所見】			
① 施設の管理運営等は適切に行われている。 令和6年度は前年度と比較して、利用件数は増加したものの、イベントの開催日数が短かったことから、稼働率・利用日数は減少している。 建物の外壁工事により、休館期間が発生する等稼働可能日数に制限がある中で、利用件数を増加することができた点は評価できる。			
【利用状況】			
年度	項目	目標	実績
【参考】H30 (更新前)	利用件数	60件	34件
	稼働率	70%	23%
	利用日数		84日
	来館者数		3,389人
R 1	利用件数	40件	34件
	稼働率	35%	34%
	利用日数		122日
	来館者数		5,258人
R 2	利用件数	45件	17件
	稼働率	38%	32%
	利用日数		93日
	来館者数		3,563人
R 3	利用件数	45件	23件
	稼働率	38%	32%
	利用日数		92日
	来館者数		2,728人
R 4	利用件数	50件	34件
	稼働率	40%	45%

	利用日数		161 日
	来館者数		4,539 人
R 5	利用件数	50 件	43 件
	稼働率	40%	41%
	利用日数		149 日
	来館者数		3,838 人
R 6	利用件数	50 件	45 件
	稼働率	40%	38%
	利用日数		128 日
	来館者数		4,244 人

※ . . . 評価対象年度（以下、同じ）

- ② 以下のような利用者増加や利便性向上の取り組みが行われた。
- ・「市政だより」や「かるぼー」を活用したイベントの情報提供
 - ・ホームページへのチラシ掲載、他施設へチラシ・ポスターの掲示・配布依頼の実施
 - ・共同事業体メンバーが行う事業「1000人の夢寄金」への利用の呼びかけ
 - ・当施設のファンクラブ会員を募り、メールマガジン等でイベント案内や施設や街の歴史を配信
 - ・ホームページに貸館状況を掲載し、予約は速やかに反映することで利用しやすい環境整備を実施
- ④ 以下のような営業・広報活動が行われた。
- ・共同事業体メンバーのネットワークを通じたリーフレットの配布やメールマガジン、SNSによる情報発信
 - ・イベント案内をホームページのトップ画面からすぐに検索できるように整備
 - ・マスコミへの取材依頼を行い、PRを実施(令和6年度は6事業について8紙に掲載)

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

- ① 令和6年度は利用者（主催者）のアンケート回収率 100%を達成するとともに、総合評価の満足層についても 100%の結果を得て、高い水準を維持している。

【アンケート結果】

年度	項目	目標	実績
【参考】H30 (更新前)	アンケート回収率		100%
	総合評価「満足層」	100%	100%
R 1	アンケート回収率		55%
	総合評価「満足層」	80%	100%
R 2	アンケート回収率		69%
	総合評価「満足層」	85%	100%
R 3	アンケート回収率		87%
	総合評価「満足層」	87%	100%
R 4	アンケート回収率		100%
	総合評価「満足層」	89%	99%
R 5	アンケート回収率		96%
	総合評価「満足層」	89%	100%
R 6	アンケート回収率		100%
	総合評価「満足層」	89%	100%

- ②③ 利用者の意見は、利用者との日々の会話やアンケート等を通じて把握し、日報等において職員間で情報共有を行った。
- ④ ホームページを活用してイベントや利用状況の最新情報を提供した。また、電話や訪問による問い合わせ・施設見学にも迅速に対応している。

- ⑤ 利用者から施設や備品の貸し出しの要望を詳細に聞き取って職員間で情報共有を行った。また、設備・器具の取扱いの説明を現場にて丁寧に行った。
 接遇基本マニュアルの作成や職員研修会による事例研究や対応協議等により、サービス水準の向上を図った。また、周辺交通量が多いことや施設そのものが文化財であるという特殊性を踏まえ、建物周囲の植え込みの手入れや花の植栽などを行い、地域の景観向上や施設の魅力向上に努めていることは評価できる。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
 ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
 ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

【指定管理料】

年度	【参考】H30 (更新前)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
予算	6,073 千円	6,290 千円	6,183 千円	6,183 千円	6,348 千円	6,183 千円	6,568 千円
決算	6,073 千円	6,290 千円	6,183 千円	6,183 千円	6,348 千円	6,183 千円	6,568 千円

【光熱水費】

年度	【参考】H30 (更新前)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
予算	545 千円	544 千円	522 千円	457 千円	503 千円	481 千円	481 千円
決算	495 千円	493 千円	498 千円	498 千円	489 千円	462 千円	474 千円

- ① 施設の管理運営については、効率的な運営がなされている。
 光熱水費は、細かな室温管理を行い、経費節減を図ることで、予算を超過することなく執行することができた。
- ②③ 再委託業務については、地元企業を基本に再委託先を選定し、見積もり比較を行って経費節減に努めた。また、一部の清掃業務や駐車場の白線引き等、施設職員で対応可能なものは職員が自ら行うなどの見直しを行っている点は評価できる。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【使用料収入】

年 度	【参考】H30 (更新前)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
目 標	1,200 千円	500 千円	550 千円	600 千円	650 千円	700 千円	700 千円
実 績	591 千円	410 千円	294 千円	339 千円	773 千円	515 千円	698 千円

① ホームページやリーフレットを活用した営業活動により新規の利用申し込みが増加した。建物の外壁工事により、休館期間が発生する等稼働可能日数に制限がある中で、昨年度よりも使用料収入が増加したことは評価できる。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

① 施設の管理運営にあたる人員の配置は適切に行われている。効率的な人員配置と勤務体制により、人件費の抑制を図った。

共同事業体による管理運営の役割・責任分担等を明確にし、問題が発生した場合は相互に協議を行って解決を図るなど、適切な管理運営がなされた。

② 職員の資質・能力向上として毎月職員研修会を開催している。また、県内外で開催される展示会や講演会などに出席し、最新の情報を事業へ反映させている。

③ 地域の住民や関係団体等との連携として、東田地区及び八幡駅前地区で開催されるまちづくりイベント等に参加したり、東田地区文化施設と連動した自主事業を開催したりするなどの活動を行っている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

- ① 施設利用者の個人情報について、関係法令を遵守の上、細心の注意の下、適切な管理を行っている。また、利用申請書を取り扱う管理責任者を館長とし、その他職員が取り扱う場合の管理監督を適切に行っている。
個人情報の記載されている利用申請書は事務所内の施錠可能なキャビネットに保管し、館長が管理している。
- ② 利用申込は平等に取り扱い、利用者の立場に立ったサービスを提供している。
- ③ 該当なし
- ④ 使用料の徴収及び市への納付について、一部徴収が遅れたものの、トラブルや不適切なものはなかった。また、月例報告など各種報告書もおおむね適切であった。
- ⑤ ケガや急病人発生時に、状況に応じて救急対応できるよう、最低限の薬品を備えている。職員全員がAEDを使用できるよう、操作訓練を行っている。
地震や火災などの発生時の対応については、毎月開催している職員研修会において対応の確認を行っている。また、職員全員が参加して自衛消防訓練を実施している。
- ⑥⑦ 危機管理マニュアルにより、職員研修会にて周知・確認を行っている。
令和6年度は事故や災害の発生はなかったが、災害発生時の初期対応や災害時の備えとして棚の補強支えの取り付けや、避難通路の日常点検などを行っている。

【総合評価】

【所見】

- 施設の管理運営は、施設の設置目的に沿って適正に行われた。
- 共同事業体のメンバーの強みを生かした営業活動や自主事業による知名度向上、ファンクラブの運営といった取組等による利用者の増加は評価できる。
- コストの削減や安全対策、危機管理体制等も適切に実施されている。